

審議会等の会議結果報告書

課所名

生涯学習課 すわっチャオ

会議名

令和7年度 諏訪市人権同和教育推進委員会

開催日時

令和7年8月12日(火)午前10時～午前11時30分

出席者

(敬称略)

(出席者)

委員: 鴨志田明子(委員長)、桜井幸雄(副委員長)、佐藤太郎、馬場直樹、中谷弥哲、関ゆかり、岩波清恵、松木敏博

教育委員会: 三輪教育長、草間教育委員、細野教育次長、小林生涯学習課長、友野公民館長、今井社会教育指導員、西山すわっチャオ係長

(欠席者)

委員: 森美奈子、五味直彦、矢島久資

(傍聴者) なし

資料

令和7年度 諏訪市人権同和教育推進委員会 次第 等

協議議題(内容)及び会議結果(要旨)

1. 開会 / 2. 教育長あいさつ / 3. 自己紹介 / 4. 正副委員長の選出 / 5. 協議事項<意見交換> (1)各委員から提出された議題について (2)人権に関する講座・講演会について (3)情報発信(人権平和学習のたより等)のあり方について / 6. その他 / 7. 閉会

【協議内容】

(1) 各委員から提出された議題について

○人権擁護委員が長年取り組んできた事業(小学校:花を育てる、中学校:DVDを見てグループワーク)について、学校はどう考えるか。また、時代の変化と共に方向転換が必要か。

○花を育てることを通して、命の大切さや思いやりの心を育てることを目的として取り組んでいる。人権以外に責任を持つなど色々なよい影響もあると思うが、先生たちの負担が増える点が懸念される。

○小中学校では人権に関する取組を連携して行っている。

○小学校では年間を通して様々な取組をしていて、子ども達の意識も高い。花を育てる意味を理解して取り組むことが大切。

○学校の職員が入れ替わる中で、花を育てることの意味、意図を理解する教諭が減っている現状。

○人権作文以外にも作文の課題が多く、子ども達にとっても人権学習がマイナスのイメージになると良くない。学校の取組は多く、事業の整理が必要と感じる。

○学校だけでなく、地域も巻き込んだ人権教育ができれば理想的。

○人権擁護委員による紙芝居の読み聞かせは有難い取組。保育士は日常の保育の中でも人権への取組(絵本の読み聞かせなど)を行っている。色々な子どもたちがいる中でその子にあった保育を行う。

(2) 人権に関する講座・講演会について

○小さなうちから、おはよう、おやすみのあいさつや感謝の気持ちを自然に言えることが大切であり、それを地域の活動を通じて再認識した。

○性教育に関しては、幼児期からの取組が必要な時代。専門家による講演会の実施なども検討してもよいのではないかな。

(3) 情報発信(人権平和学習のたより等)のあり方について

○「人権平和学習のたより」は誰を対象に取り組む事業なのか。市民の人権意識を高めることを目的とするなら、学校での取組だけでなく、市民向けの人権講座などについても広く掲載していくべき。

○人権に関することを幅広く掲載して啓発に繋げるのがよい。